



## 「大内中学校区小中合同会議」

6月7日（火）に大内中学校区小中合同会議がオンラインで開催されました。今年度生徒会・児童会活動テーマ、基本方針、A B C D運動の取組状況について発表・質疑応答の後、共通課題（OHCカードを活用したメディア使用課題、生活・学習改善）について協議されました。

小中合同で頑張ることとして次の3つのことが確認されました。

第一に、あいさつです。学校で、地域で、家庭で、あいさつを自ら積極的に行うことにチャレンジしてほしいと思います。あいさつは周囲の人を元気にする立派な社会貢献です。

第二に、家庭学習です。一人一人のもてる力の範囲内でベストを尽くし、希望進路実現につなげてほしいと思います。

第三に、OHCカードの活用です。OHCカードを活用して、ゲームやSNS、動画などのメディア使用時間や規則正しい生活習慣の確立といった自らの課題解決にチャレンジしてほしいと思います。

自分と周囲の今を見つめ、どうすればもっとよくなるかを考え、自分や周囲の生活改善、学習改善に向けた行動を起こすことは、自分と周囲の幸せを築くことにつながります。自分一人ではできないことも周囲と協力すればできるようになります。小中が共に力を合わせ、よりよい学校、元気な大内地域を創造していきましょう。

## 第1回小中合同会議より

## 大内中学校区三校A B C D運動

- A あいさつ(学校で家庭で地域で)
- B べんきょう(家庭学習の充実)
- C チャレンジ(生活・学習改善)
- D ドリーム(キャリアノートの活用)



## 「ストロングポイントで勝負する」～地区総体に向けて～

いよいよ総体まで、7日となりました。チームの仕上がり状況はいかがでしょうか。どのチーム、選手にも必ず長所と短所があり、これからの1週間で、できることは、短所の是正ではなく、長所、いわゆるストロングポイントを伸ばすことです。一人一人のよさ、もち味が十分に発揮されたとき、チーム力が飛躍的に伸び、限りなく勝利に近づいていきます。「どのようにして自分とチームメイトのよさやもち味を最大限に引き出すか」が、この1週間の最重要ポイントと言えます。ストロングポイントで勝負すること意識を合わせましょう。

また、先日、科学部による応援練習を見る機会があったのですが、2・3年生の指導のもと、1年生が全身を使って大きな声で頑張っていました。「全力で練習に打ち込む姿と熱量」は必ず伝わり、周囲の人の元気や、やる気を引き出すなど、いい影響を与えます。

自分と周囲のために全力を尽くす1週間にしてください。「全力に悔いなし」。



科学部による応援練習

- 1 会場でのあいさつ、試合前後のあいさつは本荘・由利 No.1 のレベルで頑張る。  
※保護者、会場の人、相手チーム、審判・役員、自チームへの感謝の心をあいさつで示す。  
※日頃からあいさつできていないとできない、No.1 の意識がないと No.1 にならない。
- 2 試合に出る選手も、ベンチの選手も、応援も、チーム一体となった明るいコミュニケーション（励まし合い）を頑張る。  
※うまくいったときも、仲間がミスしたときも、元気に明るいコミュニケーションを心がける。ナイスプレーが出たときは盛り上げ、「いける！いける！」という場の雰囲気を作り出す。ミスして落ち込んでいる人に「光」をとます。「ドンマイ、次」「サンキュー」。
- 3 最高にうまくいった自分の姿をイメージする。得点、逆転のストーリーを描く（イメージでもよい）。※いい選手はゴールや得点までのストーリーが描いています。